

hot news

中央卸売市場水産棟第一期工事が完了 ●低温売り場を大幅に拡大

昨年夏から進めてきた、中央卸売市場水産棟の第一期工事が完了し、新水産棟の大半が完成しました。一月の初せりを皮切りに、新施設での業務を開始します。

昭和三十四年開設の同市場では、施設の老朽化に加え、荷さばき車両の増加などによる混雑で業務に支障をきたしています。そのため、現在の敷地内で全面的な建て替えを進めています。

新水産棟では、生鮮食料品

今後、従来の水産棟の取り壊しに引き続き、新水産棟の



新水産棟の卸売りスペース。手前が入荷用通路

増築に着手。平成十九年には、中央に設ける駐車スペースを含め、施設すべてが屋根に覆われた全天候型の市場が完成します。

【詳細】中央卸売市場再整備担当 ☎(611) 3116

hot news

「健康さっぽろ21」を策定 ●本市の傾向を踏まえ10年後の目標値を設定

市民一人ひとりの自主的な健康づくりを進めながら、生涯を通じた健康を実現するための指針として、「健康さっぽろ21」を策定しました。

策定に当たって実施した意識調査などを通して、市民の皆さんの健康を左右していると思われる多くの課題が浮き彫りになりました。全国平均との比較による本市の特徴としては、「妊娠中に喫煙や飲

酒する人が多い」、「運動習慣のある人が少ない」、「ストレスを感じる人が多い」などが挙げられます。こうした現状を基に、「母子保健」、「栄養・食生活」、「たばこ」など九つの領域で、今後十年間に本市が達成すべき目標を数値で示しています。

このほか、人生を幼年期から高年期まで六つの年代に分け、それぞれの年代に合わせ

た健康づくりのポイントを分かりやすく示しています。

計画では、地域のさまざまな団体と行政などが連携した取り組みを重視しています。市では、地域で自主的な健康づくり活動に取り組みグループへの支援を充実させるなど、多くの方が健康づくりに取り組める環境の整備に一層力を入れています。

この計画の概要版は、各保健センター、区役所の広聴係などで配布しています。

【詳細】地域保健課 ☎(211) 2306

hot news

モエレ沼公園の新たなシンボルの名前が決定 ●公園は平成十六年末に全面完成

先に、本誌九月号などで、東区のモエレ沼公園に新たに仲間入りする二つの「シンボル」の名称・愛称を募集しました。両者合わせて四千百三十五件のご応募をいただき、このほど地域の方や学識経験者などからなる選定委員により、次の通り決定しました。

平成十六年度中の完成を目指し造成が進む山（高さ五十メートル）の正式名称は、仮称と同じ「モエレ山」に。アイヌ語に由来する「モエレ」が古くから親しまれている呼び名であることや、響きが美しいことなどから選ばれたもので、この名称は国土地理院の地形図にも掲載される予定です。

一方、レストランや多目的スペースを備えた施設として、今年七月にオープンするガラスのピラミッドの愛称は「HIDAMARI」に決定しました。温かい語感が、公園の設計者である世界的な彫刻家、故イサム・ノグチの温厚な人柄をしのばせることなどが選定の理由です。

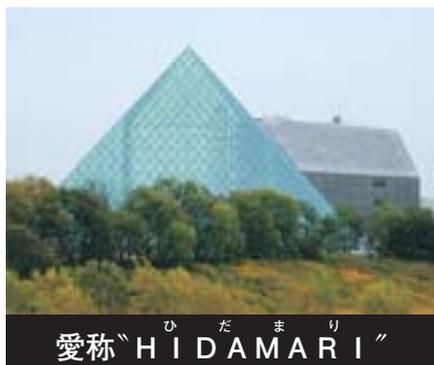
昨年十月に、日本産業デザイン振興会が主催するグッドデザイン賞で、公園としては初の大賞を受賞したモエレ沼公園。今後、敷地の中央部に噴水を設置するなどさらに整備し、十六年度末に、全面完成を迎えます。

【詳細】造園課 ☎(211) 2525



※模型写真

正式名称「モエレ山」



愛称「HIDAMARI」